

あゆちがた

発行 令和3年6月1日(火)
東海市立名和中学校だより3号



校長 明壁 啓純

今年は梅雨入りが早く、すでにジメジメとした日が続いています。コロナ対策による緊急事態宣言が延長され、修学旅行・沖縄体験学習を延期し、部活動も活動日などを制限して行うことにしました。思い切って学校生活を楽しむことができない生徒たちや、その準備や支援を惜しみなく行ってくれる保護者のみなさまに申し訳ない気持ちでいっぱいです。みなさんのご健康を第一にした苦渋の判断であることへのご理解を願うばかりです。



さて、毎年この時期は、上級学校（高等学校や専修学校）の校長先生や渉外担当の方が、中学校によく訪れます。その上級学校の特色や卒業したあとの進路先の状況などいろいろと話をしてくださいます。その話をお聞きして昔と変わってきたと思うことが多くあります。そのような話をお聞きして、中学校卒業後の進路を考えていくときに大切にしていきたいのは「自分のやりたいことを見つけ、その進路先で実現できるかどうかを、噂だけでなく、実際に自分の目や耳で確かめること」です。このことだけは、昔と変わっていないと改めて感じています。

本校では、自分にあったよりよい生き方ができるよう1年生から進路学習を計画的に行っています。進路学習だけでなく、様々な体験を通して「自分のやりたいこと」を見つけてもらいたいとも考えています。今はコロナ禍で、なかなか思うようにできないですが、できる限り多くのことにチャレンジして自分の可能性を広げられる機会をつくっていけるよう努めています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



新体力テスト

5月26日（水）に新体力テストを実施しました。



生徒総会

5月28日（金）に生徒総会を開催しました。本来であれば体育館に全校生徒が集まり行われるのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全校放送にて開催しました。

今年度の名和中学校生徒会スローガンは、「飛勝 ～今の自分を飛び越えて～」に決定しました。新型コロナウイルスなどの様々な困難に名和中生一丸となって飛ぶように乗り越えて勝利をつかみとろう！！また、制限がある中、どんな困難にも柔軟に対応し、笑顔が絶えない学校にしたいという意味が込められています。



生徒総会開会（放送にて）



表彰（バスケ男女、
東海市優良児童・生徒）



生徒会長の話

スクールカウンセラー加藤奈緒子先生より

梅雨に入りましたね。昨年から続く新型コロナウイルスの影響で、修学旅行が延期になったり、部活動が中止になったりと、変化に対応する力を試されているような日々が続いています。私自身、「何だか疲れたなあ」と感じている中、久しぶりにふと手にとった本の中で目に留まった一文を紹介したいと思います。

『人は生きる意味を自分の中で確認できないことで、悩んだり苦しんだりする心をもっている。人とかがかわって生きるなかでその意味はおのずと作られ、自分のことを居てくれてよかったと思ってくれる人と出会うことで、人の心は癒されていく。』

皆さんはこの言葉を聞いてどんな感じがしましたか？私は色々な人の顔が浮かび、自分の居場所を確認できたような感じがして、心の一部が何だかほわっと温かくなった感じがしました。

今まで当たり前のようにあった学校の行事や部活動、気軽に人と集まることがどれも制限され、我慢と言われ、自分の居場所がどんどん失われたように感じている人もいるかもしれません。でも私が週1回、名和中学校に来て見るのは、そんな中でもとても上手にお互いに居場所づくりをしている皆さんの姿です。私には皆さんが『あなたと話したい』『あなたと居ると何だか楽しい』『あなたのここは好きじゃないけど、こういう考えはおもしろい。』『私、僕とは全然タイプが違うけど、どんな人なんだろう』という気持ちで友達や先生と話をしているように見えますが、どうでしょうか？きっと「確かにそうかも」と思った人が多いのではないかなと思います。皆さんがそんな気持ちで友達や先生と話するとき、その友達や先生、そして自分にとっても居心地のよい居場所がつけられています。

行事や部活動や集まる場所がなくても、皆さん一人ひとり、相手と自分にとって居心地の良い居場所をつくる力がしっかりとあるのです。私自身、皆さんの居場所づくりの力に助けられている一人だと思いますし、皆さんにとって居心地の良い居場所をつくりたいと思っています。この気持ちは名和中学校の先生一人ひとり、みんな同じです。お互いにとって心地の良い居場所は一人ではつくれません。みんながお互いに自分にとって、相手にとって居心地のよい居場所を作る努力をし続けることができるといいなと思っています。